

除染後農地の試験栽培について

概要

- ・長泥地区の除染後農地において、村独自の試験栽培を実施し、
土壌及び作物への放射性物質の移行度合いを調査

パイプハウス内の空間線量及び土壌の分析

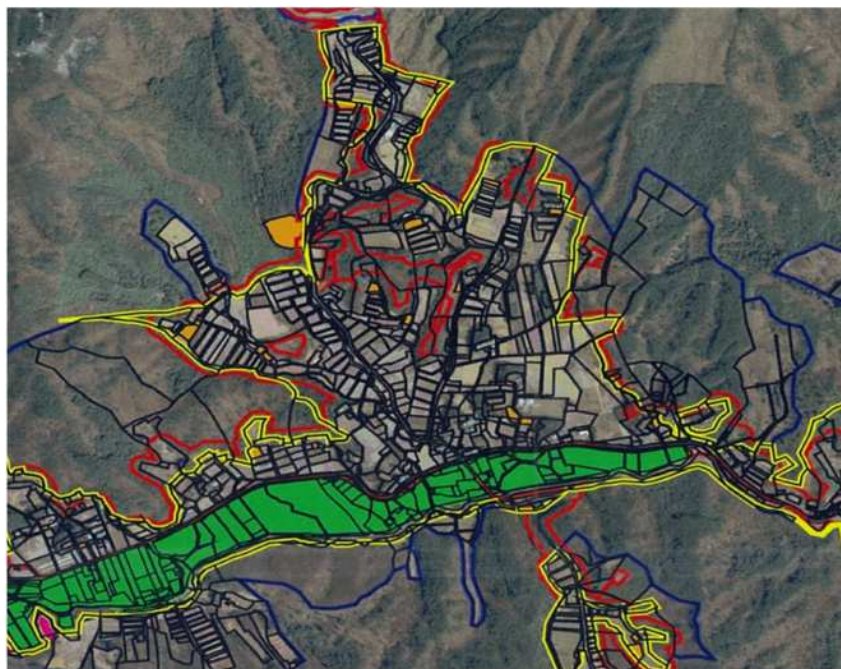
- ・ハウス内外の空間線量（R4. 10. 19測定）

ハウスの内	3ヶ所測定	平均線量0.61 μ Sv/h	最大値0.63 μ Sv/h 最小値0.58 μ Sv/h
〃の外	4ヶ所測定	平均線量0.55 μ Sv/h	最大値0.61 μ Sv/h 最小値0.44 μ Sv/h
- ・土壌中の放射性物質濃度（3,600Bq/kg）

場所（飯舘村長泥字長泥794-1）

パイプハウス 3 間 × 5 間

環境再生事業エリアの北東部（詳細図）



環境再生事業エリアの北東部（抜粋図）



試験栽培作物の種類

- ズッキーニ
- ミニトマト
- 鷹の爪



(上記の3品種とも生育は順調であった)

手前より鷹の爪、ミニトマト、ズッキーニ

期間：6月24日～10月末まで

放射性物質測定の結果

単位(Bq/kg)				
品名	測定日	セシウム-134	セシウム-137	合算値
ズッキーニ（実）	8月5日	検出せず(<6.6)	検出せず(<5.8)	—
ミニトマト（実）	8月18日	検出せず(<7.7)	検出せず(<6.1)	—
〃	8月25日	検出せず(<7.3)	検出せず(<6.3)	—
〃	8月30日	検出せず(<8.9)	検出せず(<7.1)	—
〃	9月13日	検出せず(<10.8)	検出せず(<9.1)	—
鷹の爪（生：実）	9月12日	検出せず(<7.9)	11.2	11.2
鷹の爪（生：葉）	9月12日	検出せず(<11.3)	14.3	14.3
鷹の爪（生：実）	9月16日	検出せず(<10.0)	検出せず(<8.2)	—
鷹の爪（生：葉）	9月16日	検出せず(<12.5)	検出せず(<11.2)	—

※ カッコ内の数値は検出限界値